

第1回 草津市総合計画策定委員会 幹事会

開催日 平成30年10月19日（金）

(1) 第6次草津市総合計画の策定方針について

主な意見等

- ・策定趣旨における「一方本市では・・・」の記載だが、本当にそういった現状認識でよいのか。これまでの先人たちの努力があって今の草津市があるので、そのことに配慮するような記載とした方がよいのではないか。
⇒ 「・・・総合計画に基づくリーディング・プロジェクトに掲げた重点方針をはじめとした諸施策を推進してきた・・・」を「・・・総合計画に基づき将来を見据えたまちづくりを推進してきた・・・」と修正しました。
- ・まちづくり会議について、「地域の魅力や問題点の洗い出しや、地域の将来像やその実現に向けた取組を検討する」とある中で、全6回で学区ごと1回開催する計算だが、1回で足りるのか。
⇒ 名称を「地域別懇談会」に変更し、開催回数を「各地域1～2回」に修正しました。
- ・庁内検討体制のプロジェクトチームについて、廃止はよいが、今後第6次総合計画を進めていく職員の内部的の共通認識が必要ではないか。
⇒ 計画策定中に30歳～45歳程度までの12年後に課長・副部長・部長の立場にある中堅職員の意見を適宜聞く機会を設けます。

(2) 市民意識調査（総合計画策定用）等の実施について

主な意見等

- ・市民意識調査の設問項目について審議会で意見をいただく必要があるのではないか。
⇒ スケジュールを見直し、審議会で意見をいただいた後に市民意識調査を実施します。
- ・市民意識調査の問7の趣旨はなにか。立地適正化計画において、草津市は人口減少を見据えたまちづくりを進めていくとしている。
⇒ 設問の内容を見直しました。
- ・市外に転出される方にアンケートを実施して、総合計画の参考とできるか。アンケートを実施する意味があるか。
⇒ 転出者アンケート調査は取り止めました。